

CABLINE®-CAL IIF

Part No. 21088-050T-01,21089-050E-01

Instruction Manual

2	S25496	December 16, 2025	K.Hara	T.Tanigawa	H.Ikari
1	S25110	February 21, 2025	R.Hatano	T.Tanigawa	H.Ikari
0	S24472	December 16, 2024	R.Hatano	T.Tanigawa	H.Ikari
Rev.	ECN	Date	Prepared by	Checked by	Approved by

弊社製コネクタ CABLINE-CAL IIF を安全に御使用頂くことを目的とし、コネクタの挿入・抜去の手順及び注意点を記述致します。

1. コネクタ名称・品番

・プラグコネクタ

名称: CABLINE-CAL IIF PLUG SHELL ASSEMBLY

品番: 21088-050T-01

・リセプタクルコネクタ

名称: CABLINE-CAL IIF RECEPTACLE ASSEMBLY

品番: 21089-050E-01

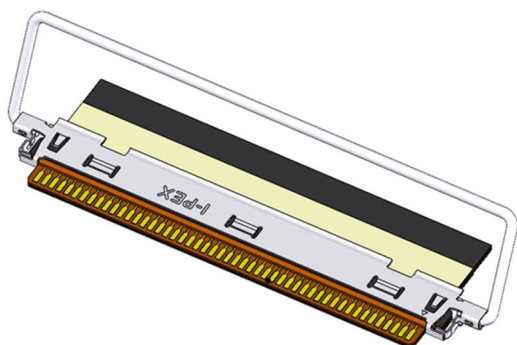


図 1. CABLINE-CAL IIF Plug Shell Assembly with FPC

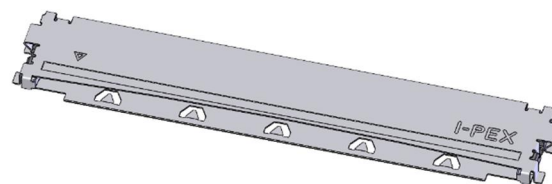


図 2. CABLINE-CAL IIF Receptacle Assembly

2. コネクタ各部名称

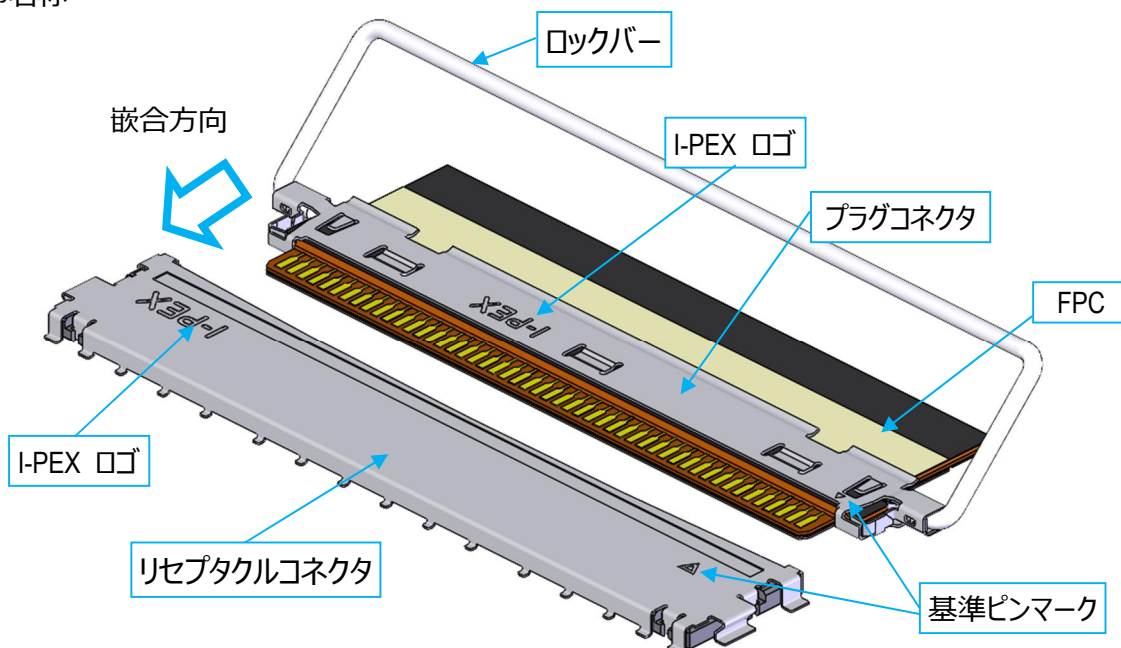


図 1 コネクタ各部名称

3. コネクタ挿入手順

3.1 プラグコネクタとリセプタクルコネクタの基準ピンマークが同じ側に来る様にセットする。

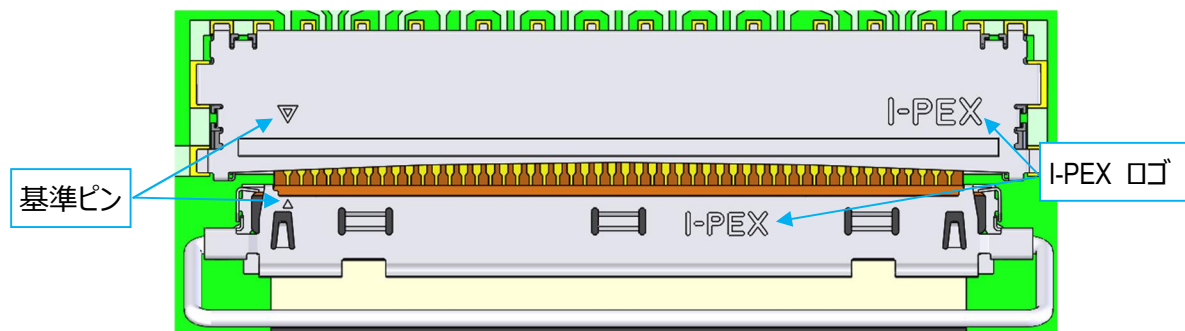


図 2 基準ピンマーク位置

3.2 水平方向/垂直方向ともに角度がつかない様にプラグコネクタをリセプタクルコネクタに対して、真直ぐになるまで挿入方向に過度な荷重を加えず仮挿入を行う。

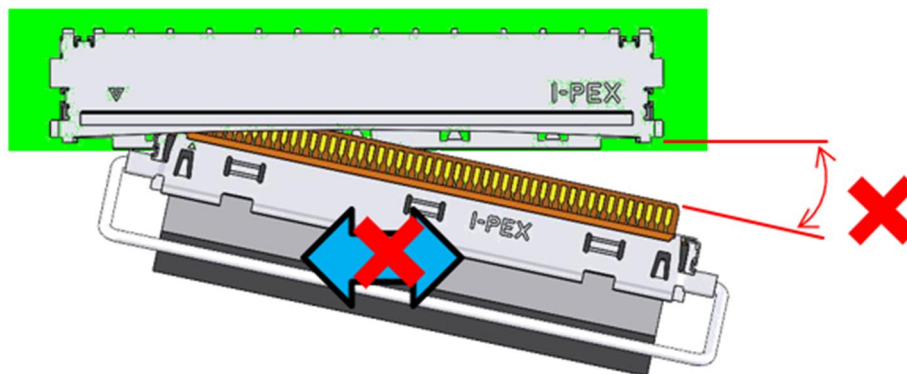


図 3 水平方向 斜め嵌合 NG 例

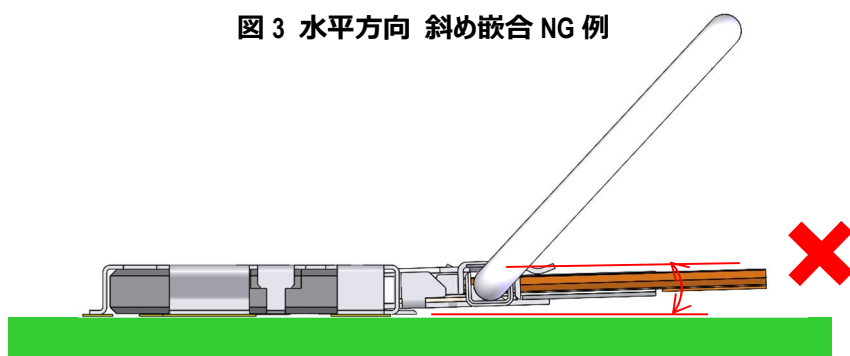


図 4 垂直方向 斜め嵌合 NG 例

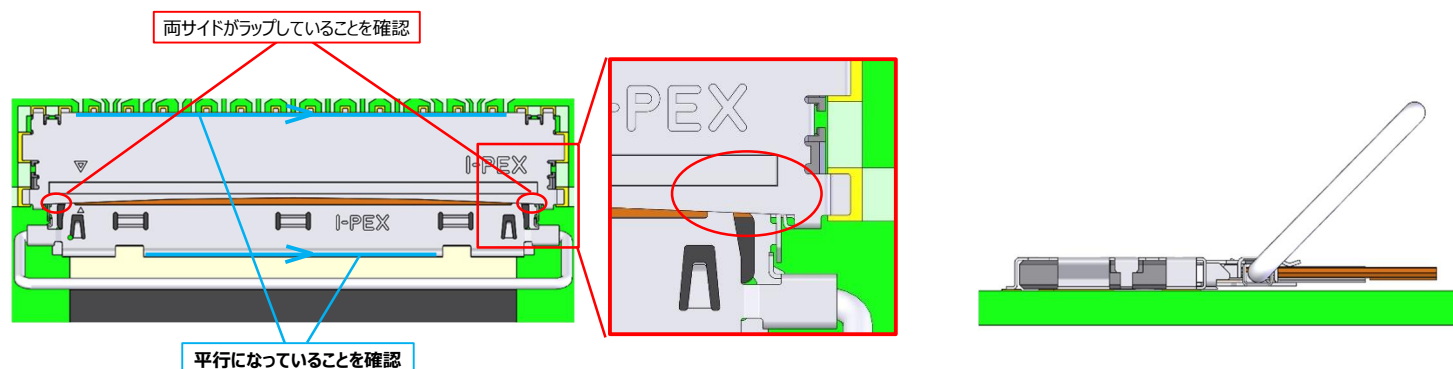


図 7 仮挿入状態

3.3 仮挿入後、FPC を掴んで水平に挿入し、隙間がないことを確認する。

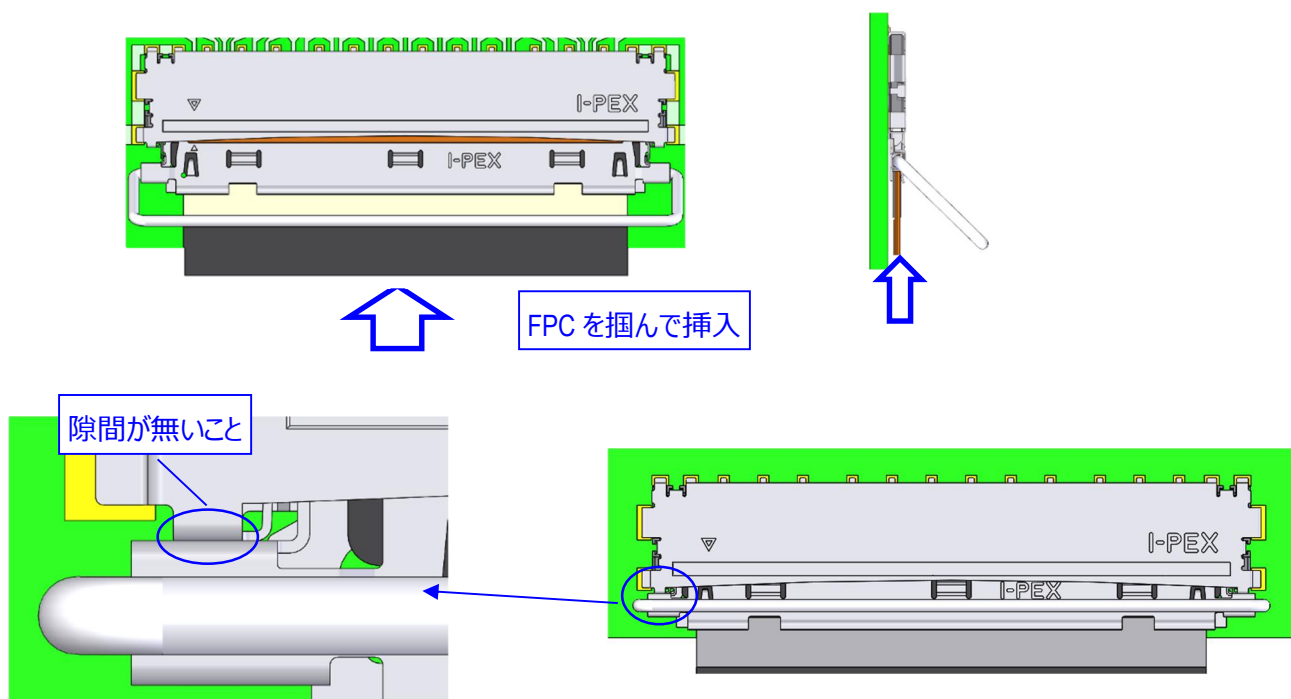


図 8 プラグコネクタ挿入方法

注意事項 1

プラグコネクタを片側ずつ押さないで下さい。半嵌合になる原因となります。

*隙間がある場合、嵌合完了していない状態になります。

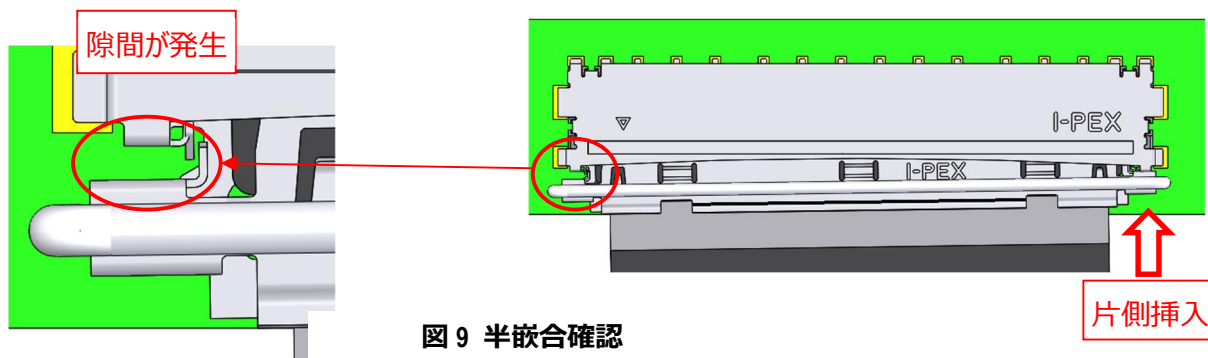


図 9 半嵌合確認

隙間がある状態でプラグコネクタのプラグカバーを閉めないでください。

ロックバーとリセプタクルシェルが干渉しコネクタが変形する原因となります。

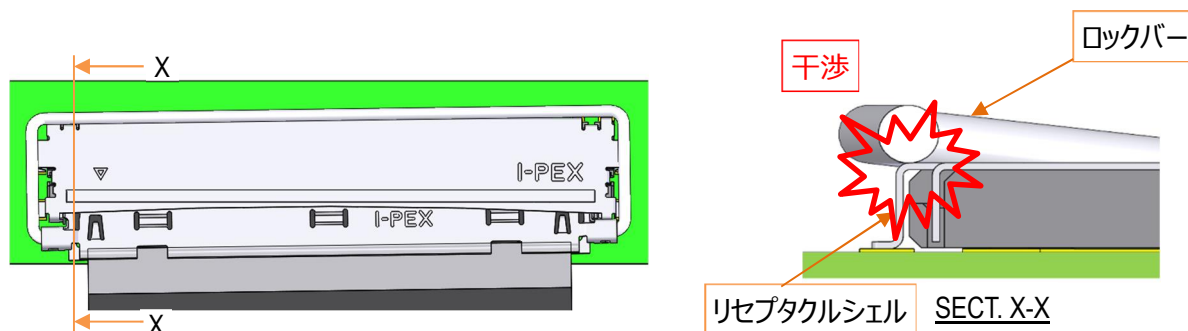


図 10 プラグとリセプタクルコネクタの干渉

注意事項 2

プラグコネクタがリセプタクルシェルに挿入ガイドに沿って挿入してください。
挿入ガイドに沿って挿入されない場合、コネクタが変形する原因となります。

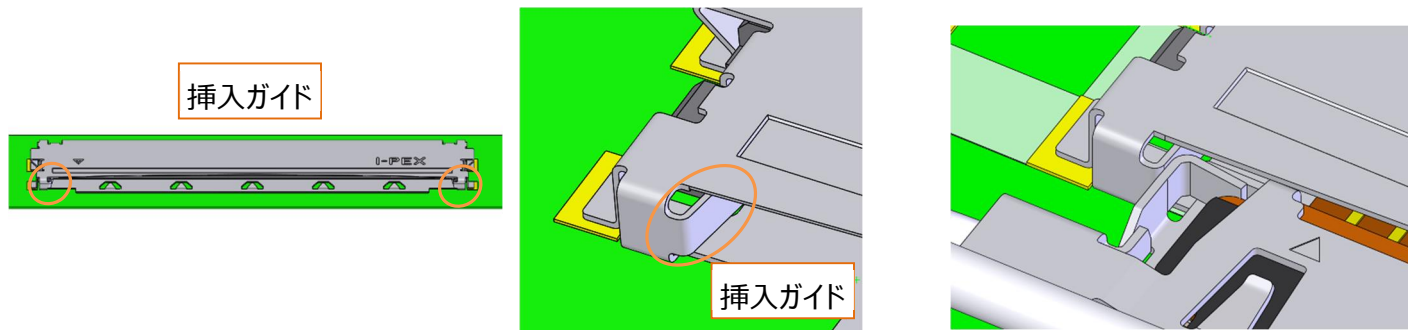


図 11 挿入ガイド

注意事項 3

挿入時まっすぐに挿入してください。
こじりながら挿入した場合、コネクタが変形・破損する原因となります。

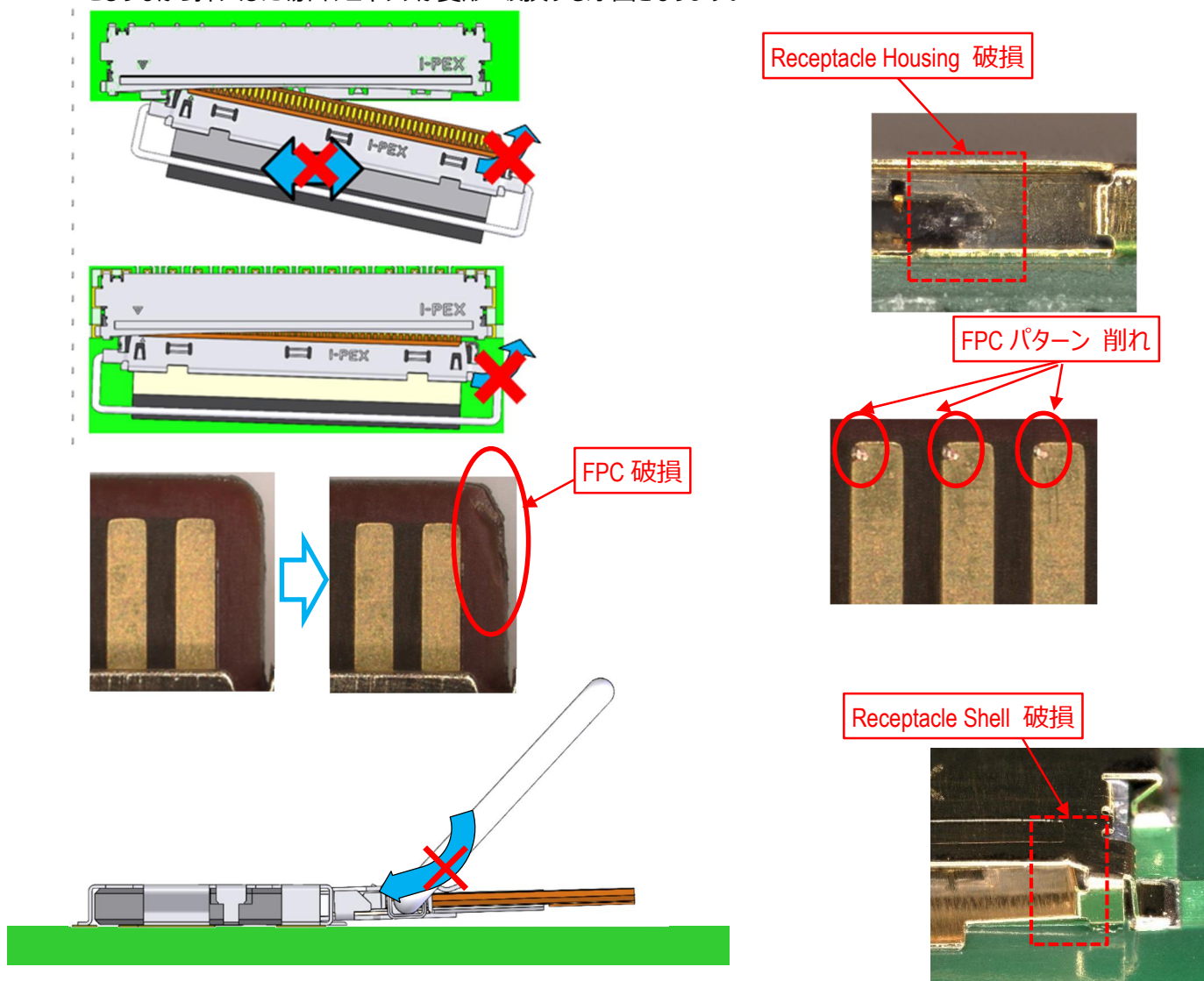
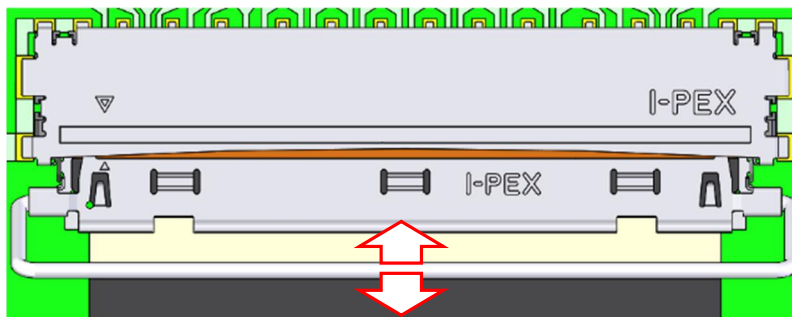


図 12 こじり挿入での破壊モード

注意事項 4

ロックバーのみを操作して、プラグコネクタを挿入しないでください。
コネクタが破損・変形する原因となります。

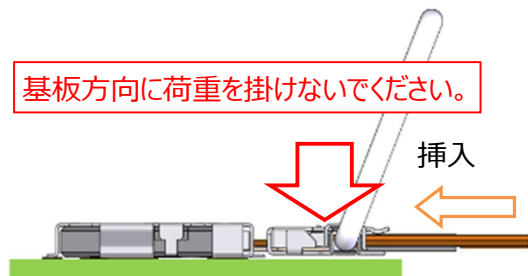


ロックバーを直接押したり、引いたりしないで下さい。

図 13 挿入 NG 行為 1

注意事項 5

プラグコネクタを基板方向に荷重を掛けながら挿入しないでください。
コネクタと基板が破損・変形する原因となります。



基板方向に荷重を掛けないでください。

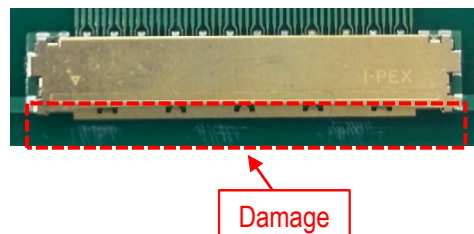


図 14 挿入 NG 行為 2

注意事項 6

外れたロックバーを再び取り付けて使用しないでください。変形し機能を満たさない原因となります。

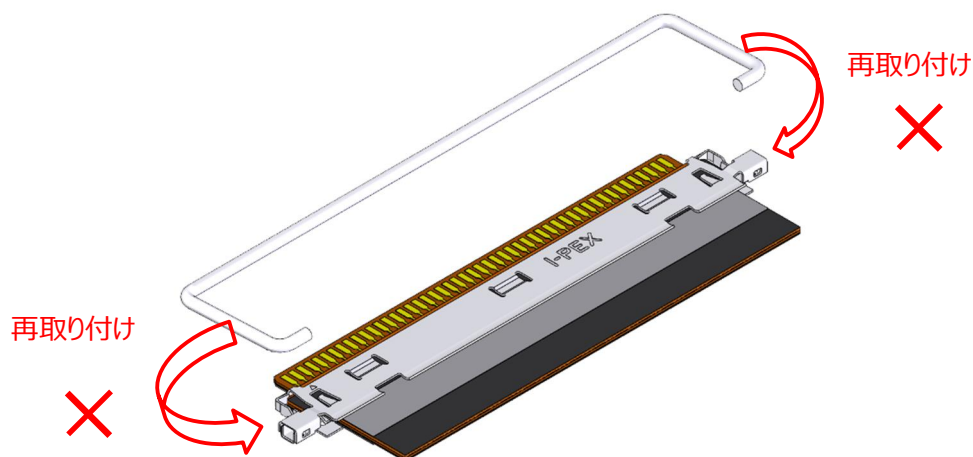


図 15 ロックバー再取り付け(NG)

3.4 リセプタクルコネクタをロックさせる時、ロックバーアセンブリの青丸箇所を基板側へ押してください。

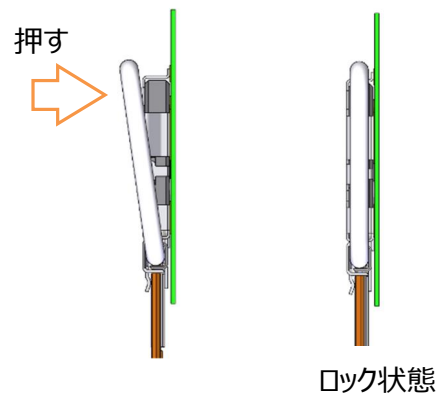
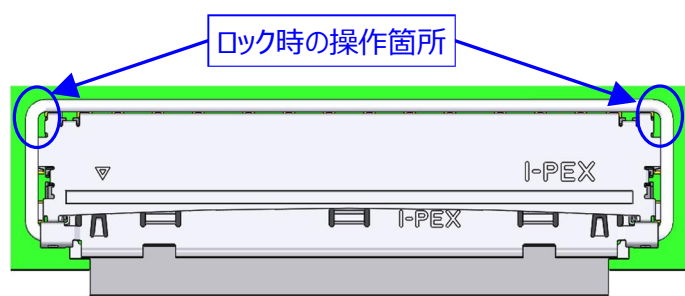


図 16 嵌合ロック方法

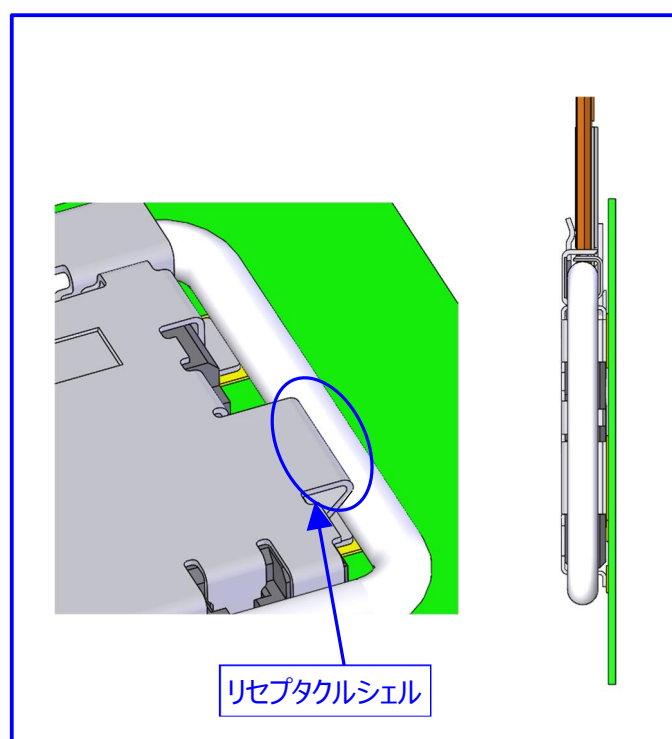


図 17 ロックバーアセンブリ嵌合状態

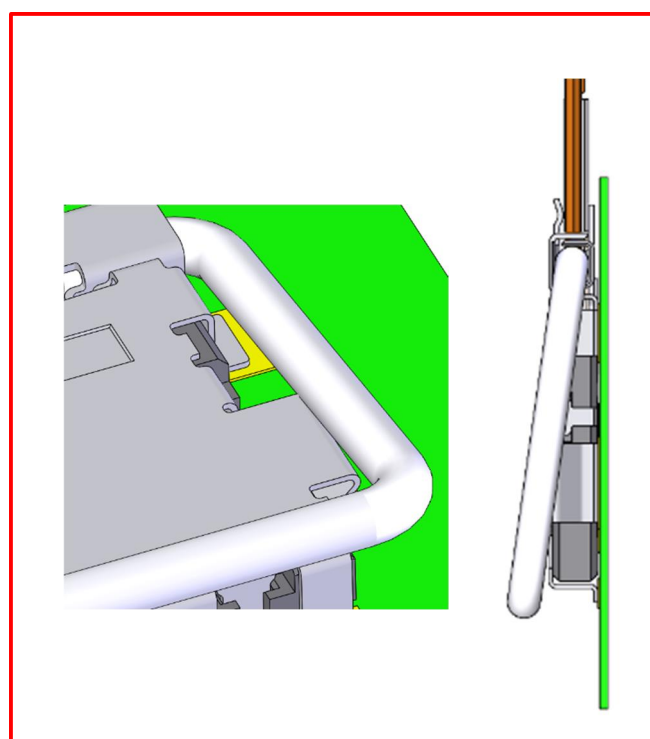


図 18 ロックバーアセンブリ非嵌合状態

4. コネクタ抜去方法

4.1 リセプタクルコネクタをロックさせる時、ロックバーの青丸箇所を基板側へ引上げる。

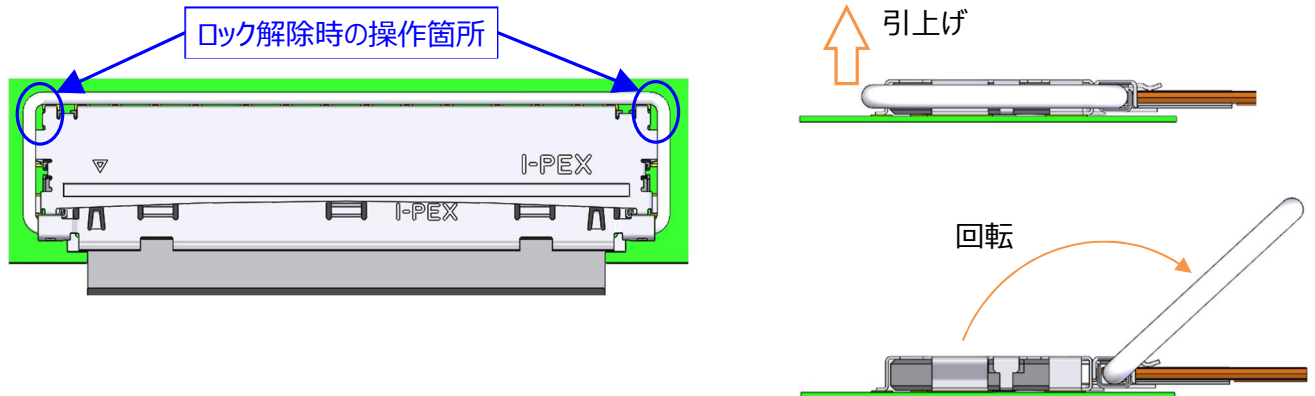


図 19 ロック解除方法

注意事項 7

ロック解除操作時に、ロックバーアセンブリの赤丸箇所を操作しないでください。

ロックバーアセンブリが変形・破損する可能性があります。



図 20 ロック解除 NG 操作箇所

4.2 ロックバーアセンブリの FPC を掴んで水平に抜去する。

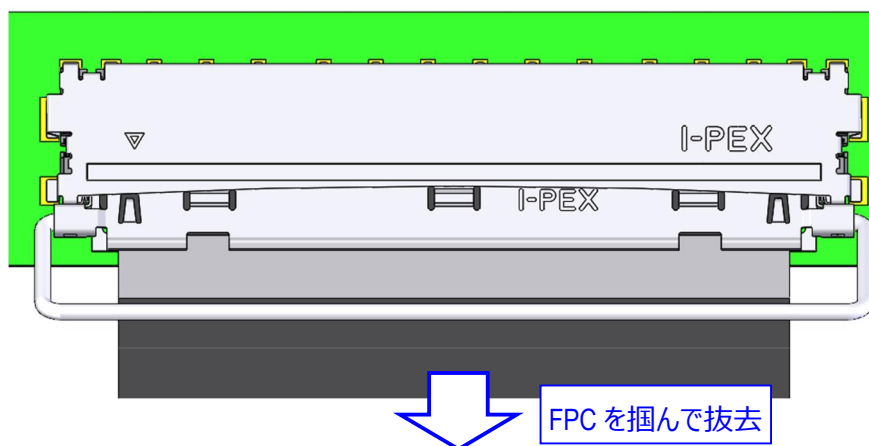


図 21 抜去操作箇所

注意事項 8

ロックバーのみを操作して、プラグコネクタを抜去しないでください。
コネクタが破損やロックバーが変形する原因となります。

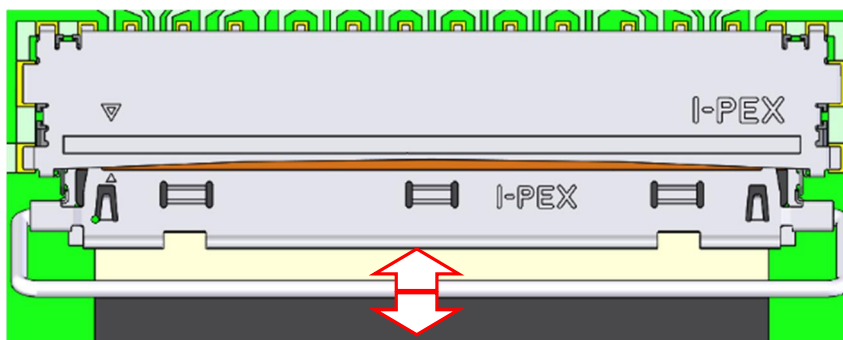


図 22 抜去 NG 行為 1

注意事項 9

プラグコネクタを基板方向に荷重を掛けながら抜去しないでください。
コネクタ破損の原因となります。

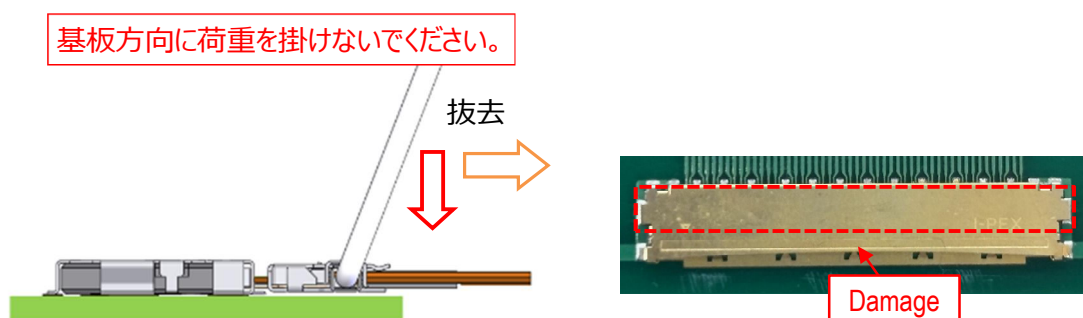


図 23 抜去 NG 行為 2

注意事項 10

外れたロックバーを再び取り付けて使用しないでください。変形し機能を満たさない原因となります。

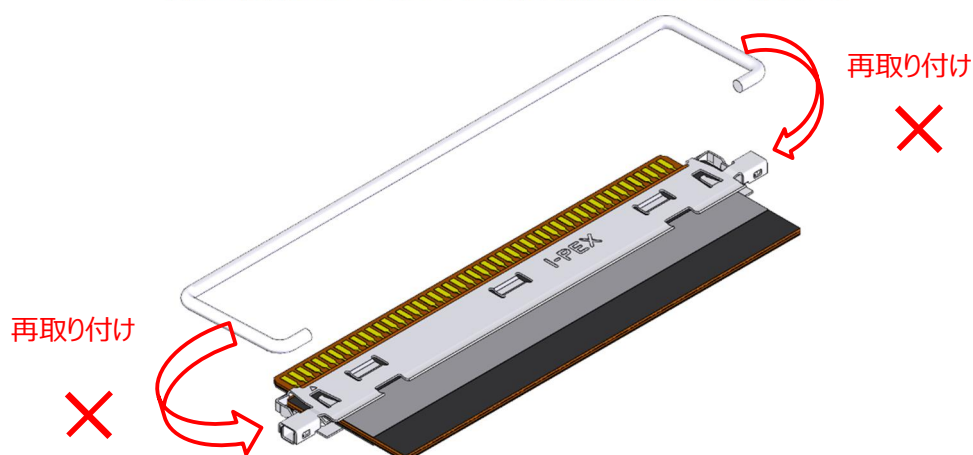


図 24 ロックバー再取り付け(NG)

5. コネクタ取扱いにおける注意事項

- 5.1 コネクタ嵌合時に、プラグコネクタの FPC 又はロックバーアセンブリを垂直方向に引っ張らないでください。
リセプタクルシェルが変形・破損する原因となります。

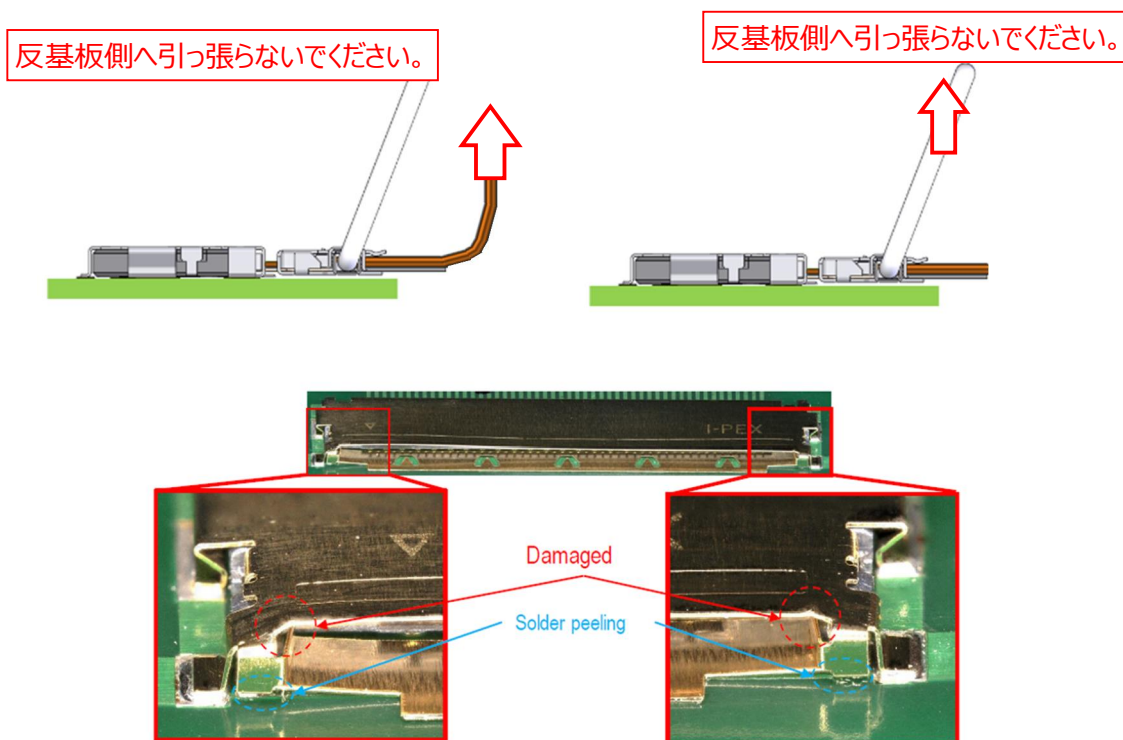


図 25 FPC とロックバーアセンブリの操作 NG 行為

- 5.2 FPC 引き回し時に、コネクタに過大な荷重が掛からない様にしてください。
また、常にコネクタに荷重が掛からない様に引き回してください。
コネクタの破損、嵌合不良、FPC の断線、ショートの原因となります。

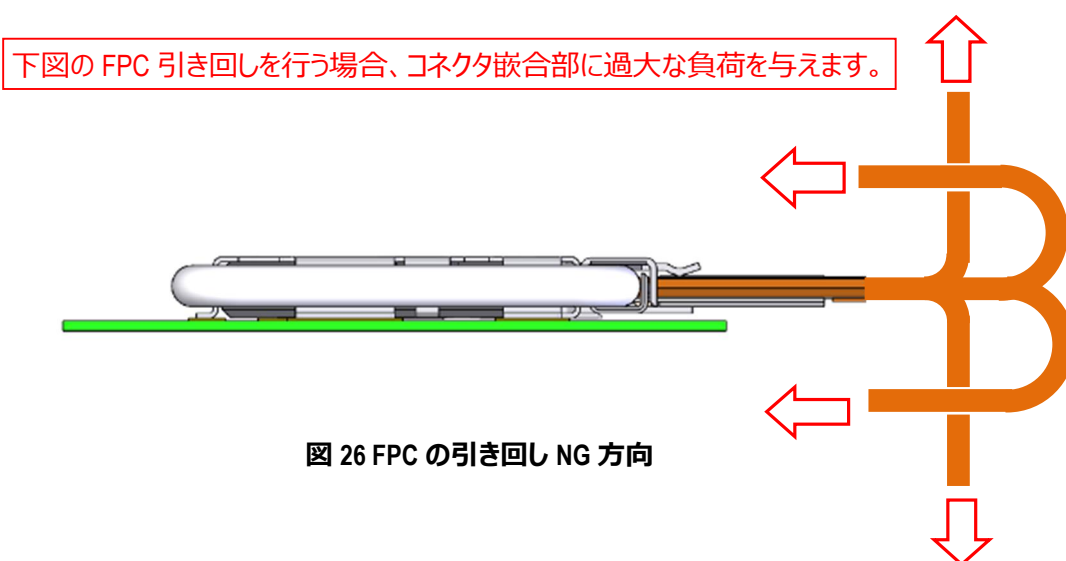


図 26 FPC の引き回し NG 方向